

『アンドロイドは
電気羊の夢を見るか？』

人間性の本質と人工知能



主人公リック・デッカード
- アンドロイドの廃棄が仕事
- その過程で人間性につについて熟考



アンドロイド
- 外見や行動が人間とほぼ同じ
- 共感能力が欠如
- ⇒ 次第に人間との区別がつかなくなる

問い ― 人間らしさとは？人間の本質とは？

現実と幻想の境界

物語の人々
- 「ムード・オルガン」で感情を制御



擬似宗教「マーサリズム」に没頭

問い
- 日常の「現実」がどれだけ信頼でるのか？
- ハイテク社会での現実とバーチャルの境目は？

孤独と共感の探求

悩みや葛藤
- 主人公リック ― 自分の感情に対して
- アンドロイド ― 存在意義について

根源的な欲求
- 「理解されたい」「共感されたい」
- テクノロジーが進歩しても変わらない



考えさせられること
- 自分自身の人間関係
- 社会における他者とのつながり